



「ヒラメキパズル マックスウェルの不思議なノート」

(開発元: 5TH Cell Media, LLC / 日本国内での発売・販売元: 株式会社コナミデジタルエンタテインメント)

「ゲームデザイナーズ大賞 2011」を受賞

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(略称: CESA、会長: 和田 洋一、所在地: 東京都港区)では、「日本ゲーム大賞 (Japan Game Awards)」の今年度の「ゲームデザイナーズ大賞 2011」を「ヒラメキパズル マックスウェルの不思議なノート」(開発元: 5TH Cell Media, LLC / 日本国内での発売・販売元: 株式会社コナミデジタルエンタテインメント/ プラットフォーム: ニンテンドーDS)に決定しました。

同作品の決定理由として、審査員長の桜井 政博氏は、以下に述べています:

「海外では 2009 年 9 月に発売し『Scribblenauts』の名前でミリオンセラーになっており、日本への移植は 2011 年 1 月ですので、三年目に入っての受賞となります。

ゲーム内容は、さまざまな単語を打ち込むと、その名前通りの物体が出現します。

例えば「せんし」に「けん」を持たせ、「うま」にまたがらせて「ドラゴン」と戦わせることができるなど、物体や道具、乗り物から架空の生き物、飲み物、食べ物、液体や気体や天体に至るまで、2 万以上のアイテムとそのアクションの多さが楽しめる作品です。

この作品は、ゲーム内でクリアすることだけが本質ではなく、出現させるアイテムにしても、その組み合わせにしても、プレイヤーには常に工夫が求められます。

ゲームの自由度は、ゲーム作りにおいて常々語られています。同じ作品を楽しませた人々と、まったく異なる体験をさせることは、ゲームでしかできません。

このゲームならではの自由度を、非常に多くの作り込みと合理的なシステムで構築し、プレイヤーの“遊ぶ気持ち”にゆだねた点が高く評価され、審査員間の得点トップでの受賞となりました。

また、この作品は、日本ゲーム大賞の一般公募からの得票数よりゲームデザイナーズ大賞審査員の支持者数が上回りました。このことは、ゲームの作り手たちが、従来の日本ゲーム大賞とは大きく異なる判断基準を示したことに対し、大きな意味を感じられる審査だったと言えます。」

「ゲームデザイナーズ大賞」は、クリエイターが作り手の視点から、高い独創性を持ち且つ、ゲームの歴史にその名を刻むべき革新的な作品を選出、称える賞として、昨年から日本ゲーム大賞に新設、今年で第2回目になります。選考は、審査員長の桜井 政博氏(有限会社ソラ代表)を含め、日本を代表するトップクリエイター総勢12名(昨年は11名)の審査を経て、決定されます。

◆「ゲームデザイナーズ大賞 2011」審査員

(※50音順/敬称省略)

氏名	所属先	氏名	所属先
飯田 和敏	(株)グラスホッパー・マニュファクチュア	桜井 政博	(有)ソラ
イシイ ジロウ	(株)レベルファイブ	高橋 龍太郎	任天堂(株)【新任】
上田 文人	(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント	巧 舟	(株)カブコン
神谷 英樹	プラチナゲームズ(株)	外山 圭一郎	(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント
菊池 正義	(株)セガ	藤澤 仁	(株)スクウェア・エニックス
河野 一二三	(株)ヌードメーカー	三上 真司	Tango Gameworks

クリエイターの視点で見るゲームの魅力を「ゲームデザイナーズ大賞」を通じて、日本ゲーム大賞から引き続き、発信していく予定です。今後も是非ご期待ください。

【授賞式の模様や受賞者のフォトセッション画像は下記ダウンロードサイトで公開しています】

URL : <https://www.filey.jp/tgs/>

(プレス用のIDとPASSの入力が必要です。ID: tgs_press PASS: press_tgs)

※昨年のゲームデザイナーズ大賞の作品については、「日本ゲーム大賞」の公式サイトをご覧ください。

日本ゲーム大賞」公式サイト:<http://awards.cesa.or.jp/>

「日本ゲーム大賞」に関するお問い合わせ先

「日本ゲーム大賞」に関する報道関係者からのお問合せ先:

◆9月18日(日)まで(東京ゲームショウ 2011 プレスルーム): 電話: 043-296-4152 Fax: 043-296-4153

◆9月20日(火)以降:「日本ゲーム大賞事務局(CESA 事務局内)」 電話: 03-3591-1431 / FAX: 03-3591-1422

e-mail : awards@cesa.or.jp